

ごみ減量検定試験問題(続き)

●資源のゆくえに関する問題

問題11

ペットボトルを排出するとき、キャップを外して出すのはどうして？

- A. キャップが閉まっていると運搬中に爆発するから
- B. キャップは硬くてリサイクルできないから
- C. キャップは金属製だから
- D. ペットボトル本体とキャップは同じプラスチックでも素材が異なるから



問題12

ビデオテープやポリバケツなどプラスチック製であっても商品そのものは「プラスチック製容器包装」として排出できませんが、その理由として間違っているのはどれ？

- A. 容器包装でないプラスチック製品のリサイクルにかかる費用を、誰かが負担する仕組みになっていないから
- B. 「容器包装リサイクル法」で容器包装以外はリサイクルの対象になっていないから
- C. 同じプラスチックでも腐ってしまう素材だから
- D. プラスチック製の製品は金属部品が混じっているものもあるから



問題13

平成23年6月から電動生ごみ処理機で乾燥された生ごみの回収制度が開始されましたが、回収された乾燥生ごみはどのように処理されるでしょうか？

- A. 焼却される
- B. 肥料になる(堆肥化)
- C. 埋立処分される
- D. 動物などの飼料(えさ)になる



問題14

分別回収されたプラスチック製容器包装がリサイクルされてできるもののうち、誤っているものはどれ？

- A. ポリ袋
- B. プランター
- C. 鉄骨
- D. 車輪止め

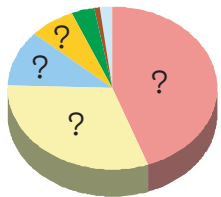


●新潟市のごみ政策に関する問題

問題15

新潟市の家庭系「燃やすごみ」に含まれるもののうち、重量で最も多く含まれるものは何でしょう？(平成22年度ごみ組成調査より)

- A. プラスチック類
- B. 生ごみ
- C. 紙類
- D. 布類



水分を多く含むと重くなるわよ



問題16

新潟市のリサイクル率は平成21年度実績で27.5%でした。全国19政令指定都市のうち第何位だったでしょう？

- A. 1位
- B. 3位
- C. 12位
- D. 19位

サイチョypress Vol.9に載ってるよ



問題17

自治会・町内会からの推薦により選出され、ごみの減量化を進める地域のリーダー的存在となっている方々の名称はどれ？

- A. イエローにいがた推進員
- B. クリーンにいがた推進員
- C. にいがたゴミヘラスンジャー
- D. サイチョのごみ減量隊



●環境・ごみに関する一般的な問題

問題18

新潟市のごみ減量のイメージキャラクター「サイチョファミリー」で、サイチョの妹の名前はどれ？

- A. クルリ
- B. キラリ
- C. ポロリ
- D. スルリ

私の名前を知ってるかしら？



問題19

ごみの少ない社会を作るためのキーワード「3R」は「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の3つを指しますが、このうち最も優先順位が高いものはどれ？

- A. ものを繰り返し使用する(リユース)
- B. ごみを資源として別の製品の原材料とする(リサイクル)
- C. 緩やかなルールで分別する(リラックス)
- D. ごみの発生そのものを抑制する(リデュース)



できたかな？



問題20

生ごみの減量方法として間違っているのはどれ？

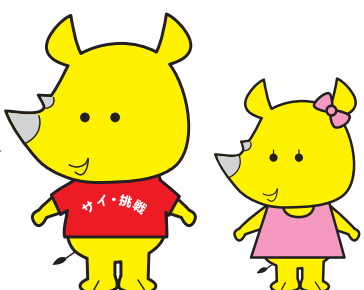
- A. 安いからといって買いだめをしない
- B. 生ごみは水を切らずに捨てる
- C. 野菜の皮を工夫して食材にする
- D. 食べ残しをしない



回答用紙 裏面

ハガキに貼る場合ははがれないようにしっかり貼り付けてください。

回答お待ちしています！



ごみ減量・資源化の推進へ ご協力ありがとうございます

新潟市は、家庭ごみ有料指定袋の収入で環境に優しいまちづくりを応援しています

平成22年度は、家庭ごみ有料指定袋などからの収入が9億188万円ありました。そのうち、ごみ袋の作製経費などを差し引いた6億710万円で、下記のような自治会・町内会の行うリサイクルへの取組みや地域活動などを応援しました。

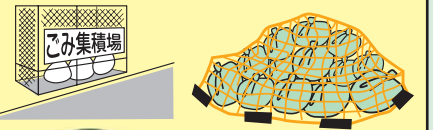
●古紙資源回収の支援

自治会・町内会が行う集団資源回収などに奨励金を交付しました。また、市民からの持込による拠点での古紙回収を行いました。(2億3,315万円)



●ごみ集積場設置などへの補助

自治会・町内会の行うごみ集積場・カラスネットの設置などに支援を行いました。(5,233万円)



●生ごみの減量・リサイクルを応援

生ごみをたい肥にするEMボカシ容器、コンポスト容器などの購入に対して助成を行いました。(300万円)



●地域コミュニティ活動への支援

地域で行う資源循環型社会形成を推進する活動などに補助金を交付しました。また、自治会などが取り組むごみ出し支援活動、地域清掃活動に助成を行いました。(5,916万円)



●新制度の周知、分別意識の向上と啓発

広報紙や分別パンフレットなどを活用して違反ごみ防止のための啓発・指導を行いました。また、研修会や施設見学会を開催するなどクリーンにいがた推進員の活動を支援しました。(8,222万円)



施設見学会の様子

●不法投棄・違反ごみ対策など

不法投棄やごみ集積場からの持ち去り防止対策として、民間パトロールなどを行いました。また、学校で行う環境教育・環境学習や廃たぷら油の回収・再利用といったバイオマスの利活用事業への支援などを行いました。(1億7,724万円)